

リウマチだより

2022年12月1日発行 VOL.1



リウマチ科みやもと 院長 宮本茂輝

〒526-0034 滋賀県長浜市弥高町 269 番

TEL : (0749)53-3887 / FAX : (0749)53-3877

URL : <https://rheumatoid-arthritis-miyamoto.jp>



↑
ホームページは
こちらから

～ご挨拶～

今年4月に長浜市弥高町で、リウマチ科単科のクリニックとして開院致しました。関節リウマチ治療は、この10～20年で大きく進歩を遂げました。生物学的製剤は8種類を数え、それらの後続品（バイオシミラー）も多数出現しました。JAK阻害薬は5剤登場し、アンカードラッグの位置付けであるメトトレキサートは、今年11月に皮下注製剤も登場致しました。

リウマチ専門医は、患者さんの状態に応じてこれらの薬剤を使いこなす必要があるだけでなく、間質性肺疾患などの関節外病変や薬剤による副作用（感染症やリンパ増殖性疾患など）にもしっかり対応できなければなりません。つまり、specialistとgeneralistの両方のマインドを持ち合わせる必要があるわけです。経験を重ねれば重ねるほど、奥の深いやりがいのある領域だと感じます。

私は日本酒が大好きなのですが、定期的に蔵元さんから「お便り」が届きます。そこからは、日本酒に対する蔵人の熱い思いが伝わってきます。人の熱意に触れると自分も頑張らないといけないって思います。

地域の先生の皆様に、リウマチという疾患をより知ってもらいたい、正しく伝えたいという思いから、この度「お便り」を発行することと致しました。これからも我々のクリニックの取り組みを定期的に発信していく予定です。

一人でも多くの患者さんの幸せのお手伝いできればと切に願いながら・・・



🍓 リウマチ豆知識 🍓

【関節リウマチ（RA）を疑った際の、リウマトイド因子（RF）・抗CCP抗体の測定について】

以前はRFが陰性時にのみ抗CCP抗体の測定が可能でしたが、現在は初診時に、「関節リウマチの疑い」で同時測定が可能です。

ここで強調したいのは、何よりもその結果の解釈が重要だということです。RF・抗CCP抗体ともに感度は約70%であり、これらが陰性という理由だけでRAを否定すると、一部のRA患者さんを見逃してしまうことになります。（血清反応陰性関節リウマチ）

また、RFは特異度が低く、シェーグレン症候群（SS）などの膠原病や、B型肝炎や感染性心内膜炎などの他疾患、また高齢でも陽性となるため、RFのみが高値で抗CCP抗体が陰性の場合には、RA以外の疾患をRAと診断してしまう恐れがあります。 （裏面へ）

一方、抗 CCP 抗体は RF と異なり特異度は高く、関節腫脹があり抗 CCP 抗体が陽性であれば 90～95% の高い確率で RA と診断できますが 100%ではありません。また、抗 CCP 抗体は発症の約 10 年前より高値を呈することがあり、やはりそれだけで RA と診断することはできません。

RA の診断は、問診・理学所見・血液・尿・関節エコー・レントゲン検査等で、他疾患を除外しつつ、総合的に診断しなければならないため、非常に難しいものなのです。



🍁患者さん向けの講演会をしました(11/6)🍁

ながはまさなみタウンにて、リウマチ患者さんやそのご家族の方を中心に、リウマチの診断・治療・合併症などについて講演しました。60 名以上の方に参加いただきました。



コロナが流行してから、対面式での患者さん向け講演会がほぼ皆無になっています。患者さんにとって、新しい情報や正しい情報が入ってこないことは不幸だと思うのです。

私たちは、「コロナだから・・・」というのをいつの間にか言い訳にしている部分があるように思います。医師としてしっかりと患者さんに届けるべきものを届ける。これを常に心に留めて、次回以降の講演会を練っていきたいと思っています。

💊薬剤師さん向けの院内講演会をしました(11/26)💊

私は、診療とはクリニック内の医療行為のみを指すものではないと思っています。小学校の時の遠足で「家に帰るまでが遠足」と言われたように、クリニックを出た後の薬局さんでの薬剤師さんとのやり取りも広義の診療です。

薬剤師さんにもリウマチという疾患を正しく理解していただくことが、患者さんの幸せに繋がると考え、院内講演会を行いました。第一弾は 2 ヶ所の薬局さんから 3 名参加いただきました。少人数であっても顔が見える会というのは非常に大事だと思っています。今後も定期的に開催していく予定です。



リウマチ・膠原病診療に
関するあれこれ・・・

★メールでの相談をお受け致します！★

「これぐらいの症状で病院に紹介するのは、何となく気が引けて・・・」「抗核抗体測定したら高かったけれど、どうしたらいいの?」「抗核抗体正常の場合、膠原病じゃないって説明しちゃっていいの?」

このように、日々の診療でお困りのことはございませんか?気軽にメールで相談いただければと思っております。少しでも皆様の日常診療のお手伝いができれば幸いです。メールアドレス: consul@rheumatoid-arthritis-miyamoto.jp



←メールはこちらから

